

SKIP シティ国際 D シネマ映画祭 2019 概要発表



後列左から、八木信忠 映画祭総合プロデューサー、奥ノ木信夫 実行委員会副会長 / 川口市長、上田清司 実行委員会会長 / 埼玉県知事、土川 勉 映画祭ディレクター。前列左から国内部門審査委員長 / 荻上直子監督、オープニング上映作品『イソップの思うツボ』の共同監督を務めた浅沼直也監督、上田慎一郎監督、中泉裕矢監督。国際部門審査委員長 / 三池崇史監督。

SKIP シティ国際 D シネマ映画祭 2019 の開催について、6 月 7 日に都道府県会館（東京・港区）にて発表があった。

開催概要：

名称：SKIP シティ国際 D シネマ映画祭 2019

期間：2019 年 7 月 13 日（土）～ 7 月 21 日（日）

会場：SKIP シティ 映像ホール / 多目的ホールほか（埼玉県川口市上青木 3-12-63）

メディアセブン（埼玉県川口市川口 1-1-1 キュポ・ラ 7F）

上映作品：

国際コンペティション 10 作品

国際コンペティションは、長編映画製作本数が 3 本以下の監督による、デジタルで撮影・編集された 60 分以上の作品を公募。本年は 92 の国と地域から 658 本の応募があり、世界中から厳選した 10 本がノミネートされた。

国内コンペティション（長編部門）5 作品

国内コンペティション（短編部門）9 作品

国内コンペティションは、デジタルで撮影・編集され 2018 年、

2019 年に完成した国内作品を対象に、長編部門では 60 分以上の作品を、短編部門では 15 分以上 60 分未満の作品を公募。本年度は、長編部門に 67 本、短編部門に 203 本の応募があり、厳正なる一次審査を経て、長編部門 5 本、短編部門 9 本がノミネートされた。

特別上映「トップランナーたちの原点」

ジョージ・ルーカス監督、クリント・イーストウッド監督スティーヴン・ソダーバーグ監督の初期作品 4 作品を上映する。

オープニング上映作品は『イソップの思うツボ』

構想 3 年『カメラを止めるな!』のクリエイター再集結! 異色のトリプル監督で贈る、SKIP シティ D シネマ映画祭でも、受賞歴のある、浅沼直也監督、上田慎一郎監督、中泉裕矢監督による予測不能の騙し合い!

バリアフリー上映「カメラを止めるな!」

関連企画として、ママ・シアター / メイド・イン SKIP シティ / カメラクレヨン / 埼玉関連映画上映や SKIP シティ夏祭りが企画されている。

◆アストロデザイン：プライベートショー東京会場は、1,100名を超える来場者

会場レポートはこちらから

<https://www.astrodesign.co.jp/event/event-20190419-3227.html#report>

●今後の出展予定

○Private Show 2019 大阪会場の詳細を発表、来場予約を開始

<https://www.astrodesign.co.jp/event/event-20190513-3276.html>

会期 2019年7月25日(木)、26日(金)

会場 グランフロント大阪 北館 4F ナレッジシアター

8K 3D シアターやバラエティに富んだ4つのセミナー

来場登録・セミナー予約はこちらから

<https://www.astrodesign.co.jp/event/event-20190513-3276.html>

○関西放送機器展に出展

<https://www.astrodesign.co.jp/event/event-20190617-3308.html>

会期 2019年7月10日(水)～11日(木)

会場 大阪南港 ATC ホール

○4K・8K 映像技術展に出展

<https://www.astrodesign.co.jp/event/event-20190617-3315.html>

会期 2019年7月17日(水)～19日(金)

会場 青海(あおみ) 展示棟

事業本部(営業) TEL:03-5734-6301 / FAX:03-5734-6102

大阪営業所 TEL:06-6328-8558 / FAX:06-6328-5058

<https://www.astrodesign.co.jp/contact.html>

アストロデザイン株式会社: <https://www.astrodesign.co.jp>

◆ビジュアルテクノロジー：4K8K 映像技術展に 8K60p にフル対応したターンキーを展示すると発表 !!

ビジュアルテクノロジー株式会社は、2019年7月17日(水)～19日(金) 青海(あおみ) 展示棟で開催される4K8K 映像技術展に出展すると発表した。ブースは、ITG マーケティング(サムスン)。

CPU: Xeon W-3175X (28 コア / 3.1GHz / TB: 3.7GHz)

GPU: TITAN TRX (24GB メモリ / GDDR6)

メモリ: 96GB (ECC Reg)

システムストレージ: 500GB NVMe

データストレージ: 4TB SATA SSD

※ DaVinci Resolve で、8K60p がサクサク動くための仕様になっている。

<https://www.v-t.co.jp> <https://trux.tokyo>

◆フォトロン：「第4回 関西放送機器展」に出展 【ブース No.A-44】

Avid、EVS、TrackMen、Vizrt の最新映像制作システムを7/10～11 開催 映像プロフェッショナル総合展示会「第4回 関西放送機器展」に出展

放送 / 映像関連機器の開発・製造・販売・輸出入を手掛ける、株式会社フォトロン(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 瀧水隆)は、2019年7月10日(水)～11日(木)の2日間、大阪南港 ATC ホールで開催される関西の放送・映像・通信・コンテンツ制作関連に携わる方々を対象としたプロフェッショナル・業務用機器・関連サービスなどの総合展示会「第4回 関西放送機器展」に、Avid、EVS、TrackMen、Vizrt をはじめとするフォトロン取扱い製品の最新映像制作システムを出展する。

▼ 第4回 関西放送機器展 フォトロン出展内容

<https://www.photron-digix.jp/info/2019/101345.html>

【フォトロン出展製品】

● **Avid**: 2019年6月にリリースされたばかりの「Media Composer」最新バージョンをはじめ、快適且つ強力な編集環境を提供するストレージ「Avid NEXIS | E4」、NEXIS ファイル管理システム「Media Central | Editorial Management」をアセット管理のエントリーモデルとして紹介する。また、クラウドソリューションとして「Media Composer | Cloud VM」「Avid NEXIS | Cloudspaces」を展示する。

● **EVS**: 転送速度向上 / 長距離伝送を可能にする「XNet-VIA (10GbE)」を搭載した最新のハイエンドライブプロダクションサーバ「XT-VIA」を関西エリアで初めて実機展示します。HFR、4K 等、中継素材の高精細化に伴う拠点間の映像ソース共有時のストレスからの解放を提案します。また、海外のスタジアム・e スポーツシーンで活躍するソフトウェアベースのフレキシブルな IP ベーススイッチャー「DYVI」を関西で初めて出展する。

● **Telestream**: トランスコード、フレームレート変換など、ビデオプロセッシングをワークフローデザインによってオートメーション化する基幹ソフトウェア「Vantage」と、高品質なアップコンバート、H.264・H.265 変換を高速化する「Lightspeed G6 Server」を紹介。

● **TFX-Artist**: 関西エリア初出展となる国産・自社開発テロップシステム「TFX-Artist」による、より効率よく、よりハイクオリティなテロップ制作を提案する。また、「TFX-Artist」と「Adobe Premiere」とのシームレスな連携を実現するプラグインソフトウェア「TFX-Plugin for Adobe Premiere」も実機で紹介。

● **TrackMen / Vizrt**: リアルタイムグラフィックス演出システム「Vizrt」と、関西エリア初出展となる TrackMen 社のマーカーレスカメラトラッキングシステム「VioTrack R」による、スムーズで汎用性の高いバーチャル / AR 演出を紹介する。

【開催概要】

第4回 関西放送機器展 (Kansai Broadcasting Equipment Exhibition)

2019年7月10日(水)～11日(木) 10:00～18:00

* 最終日は 17:00 まで

会場: 大阪南港 ATC ホール

アクセス: <http://www.tv-osaka.co.jp/kbe/access.html>

主催: 関西放送機器展実行委員会

<http://www.tv-osaka.co.jp/kbe/>

◆朋栄：第4回 関西放送機器展 出展概要

SDI/IP 統合環境、4K 制作、簡易中継など、現場のニーズに応える最新製品 / ソリューションを展示

株式会社朋栄（代表取締役社長：清原克明、本社：東京都渋谷区）は、来る2019年7月10日（水）、11日（木）の2日間、大阪南港 ATC ホールにて開催される「第4回 関西放送機器展」(主催：関西放送機器展実行委員会)に出展すると発表した。2019 NAB Show、朋栄内覧会に出展した最新の製品 / ソリューションから、SDI/IP 統合制御ソフトウェアや 12G-SDI 対応製品、字幕制作対応製品、簡易中継ソリューションなど、現場のニーズに応える製品 / ソリューションを展示する。(ブース No.A-32)

主な出展製品

1. SDI/IP 統合環境

■ SDI/IP 統合制御ソフトウェア SOM-100

SDI (ベースバンド) 映像機器と IP 映像機器の混在する環境で、各種映像機器を統合的に制御・監視するためのオーケストレーションソフトウェア。SMPTE ST 2022-6 および ST 2110 に対応する IP 対応ビデオサーバー MBP-1000VS-IP、TICO コーデックを活用することで 3Gbps 帯域で 4K 映像の伝送を可能にするモジュール製品 USF-106TICO-12G、朋栄エレテックス製 IP 対応信号発生機 ESG-4200 など紹介。

2. 4K コンテンツ制作

■ 12G-SDI 対応ビデオスイッチャー HVS-1200

4K/12G-SDI に対応した小型 1M/E ビデオスイッチャー。全入力にフレームシンクロナイザーを搭載し、4K 時に 10 入力 8 出力 + 2HDMI 出力を実現。非同期信号の入力にも対応。マルチビューワーを 2 系統搭載し、それぞれ最大 16 分割の表示が可能。設定変更により 40 入力 10 出力の 2M/E HD ビデオスイッチャーとしても利用可能。

■ マルチパスシグナルプロセッサ FA-9600

HDR/WCG の各種変換、アップ / ダウン / クロスコンバーター、12G/3G 変換、2SI/SQD 変換など、各種機能を搭載可能な 12G-SDI 対応シグナルプロセッサ。新バージョンでは、オプションで 3D-LUT モードの追加、SR Live for HDR ワークフローに対応。

3. 朋栄エレテックス製品

■ 4K タイムラグチェッカー EDD-5400

3G/HD-SDI 各信号フォーマットに対応し、オプションで 12G-SDI 信号にも対応する 4K タイムラグチェッカー。映像、音声、VANC の各遅延時間や、映像 4 系統、エンベデッド音声最大 32 チャンネル、VANC パケット、AES 2 系統の全ての組み合わせで相対遅延時間を測定可能。

■ 映像音声遅延分配装置 EDA-2000

Quad link 3G-SDI/4K 信号に対応し、映像、音声、VANC データを同時に、あるいは個別に遅延調整可能。Quad link 3G-SDI/4K 信号で標準で最大 5 秒、増設オプション使用時は最大 10 秒遅延調整可能。

Single link 3G/HD/SD-SDI にも対応し最大 4 系統遅延調整可能。出力は、quad link 信号時最大 2 分配、single link 信号時最大 8 分配。SR Live for HDR はソニー株式会社の提唱する HDR 映像制作ワークフロー。

■ 12G-SDI 対応小型ルーティングスイッチャー ERS-44-12G

12G/6G/3G/HD/SD-SDI まで幅広いビットレートに対応し、利用環境に応じて 2 入力 6 出力から 6 入力 2 出力まで入出力構成をカスタマイズ可能な小型ルーティングスイッチャー。DVB-ASI 信号にも対応。リダンダント電源、自動ケーブル補償機能、SDI リックロック機能標準搭載。GPIO、SNMP など多彩な外部制御に対応。

4. 朋栄 IBE 製品

■ 8K/4K 対応字幕アシストサービス NeON-CA

音声認識を活用し、映像ファイルの音声から文字情報を自動生成するクラウドサービス。テキストエディタ感覚の「字幕エディタ」を搭載しており、ページ構成 / 文字 / 位置 / タイミングを編集可能。字幕ページ情報を ARIB ファイルに出力することにより、NeON-IX や NeON-SHV で送信用 ARIB ファイルを作成可能。

■ 字幕ソフトウェア ICCW-100/TRS-55/IMP-210/ICCU-100

MXF ファイルに字幕情報を重畳できる ICCW-100、字幕確認用プロキシファイルを手軽に生成できる TRS-55、PC 上で字幕付き MXF ファイルを手軽に再生可能な IMP-210、重畳された字幕データを分離し、再編集を可能にする ICCU-100 の各ソフトウェアを紹介。

5. 輸出入取扱製品

■ H.265/HEVC 対応簡易中継装置 Dejero EnGo/PathWay

ビデオ映像を H.265/HEVC でエンコードし、6 つの携帯回線をブレンディングし、ネットワークを広帯域化して伝送する簡易中継装置。

ショルダー型ビデオカメラのバッテリー部に取り付け可能な EnGo、ラックマウント型の PathWay。ニュース取材、スポーツ報道、ライブイベントなど、遠隔地の取材映像 / イベント映像を放送するのに理想的なソリューション。(カナダ Dejero 社)

■ モバイルネットワークルーター Dejero GateWay Router

携帯回線や Wi-Fi など複数回線をブレンディングし、高速インターネット環境を構築可能なモバイルルーター。現場で作業するクルーがニュースルームやメディア資産管理システムにアクセスしたり、大容量のファイル送受信、クラウドサービスへのアクセス、さらには VoIP 経由での同僚との通信など、インターネットワークフローを必要とするさまざまなアプリケーションを提供。(カナダ Dejero 社)

【製品に関する問い合わせ先】 株式会社朋栄 国内営業本部 TEL : 03-3446-3121 FAX : 03-3446-4451 e-mail : sales@for-a.co.jp

【報道関係者からの問い合わせ先】

株式会社朋栄 企画室 企画・広報グループ 白鳥・出村・秋山・上島
TEL : 03-3446-3528 FAX : 03-3445-5116 e-mail : ad@for-a.co.jp

◆グラスバレー：8K ノンリニアビデオ編集ターンキー「HDWS 8K」新シリーズを発表／発売

8K・4K エディティングの普及を強力に支援

グラスバレー株式会社（代表取締役：竹内克志、本社：兵庫県神戸市）は、8K 素材のリアルタイムネイティブ編集を可能とするノンリニアビデオ編集ターンキーシステム HDWS 8K の新シリーズを発表、同シリーズの HDWS 8K Express の販売を開始します。今回発表となる新シリーズは、HDWS 8K Elite と HDWS 8K Express の二機種をラインナップしている。

HDWS 8K Express は、快適な 4K 映像編集で定評のある HDWS 4K シリーズのハードウェアに 8K 編集・8K ファイルエクスポート機能を持つ EDIUS Workgroup 9 の特別ライセンスを搭載したターンキーシステム。EDIUS Workgroup 9 の新機能によって実現するビデオアウトコンバージョン機能により 8K 編集映像を 4K モニターでプレビューすることが可能となり、8K 映像編集環境の構築時に初期コストを抑えながら導入することができるとしている。

さらに、HDWS 8K Express の上位機種として、HDWS 8K Elite の発売を予定しております。HDWS 8K Elite は SDI 出力を装備し、8K 編集映像を 8K のネイティブ解像度のまま 8K モニターでプレビューすることが可能となる。

また、ビデオアウトコンバージョン機能は、従来の HDWS 4K シリーズ、REXCEED シリーズにも搭載予定です。4K 編集映像を HD モニターでプレビューすることにより、既存の HD 編集環境で快適な 4K 編集が行えるようになるため、追加投資負担を抑えることが可能になる。

グラスバレーは、これらのソリューションにより、放送局をはじめとするあらゆる映像制作現場で加速する 8K・4K エディティングの普及を強力に支援していくとしている。

製品の詳細については、製品ページを参照のこと。

<https://www.grassvalley.jp/pdt-item/hdws-8k-express/>

HDWS 8K Express は、Grass Valley が誇る 8K 対応 EDIUS ターンキーシステムの最新シリーズ。HDWS 8K Express は、快適な 4K 映像編集で定評のある HDWS シリーズのハードウェアに 8K 編集・8K ファイルエクスポート機能を持つ EDIUS Workgroup 9 の特別ライセンスを搭載したターンキーシステム。ビデオアウトコンバージョン機能により 8K 編集映像を 4K モニターでプレビューすることが可能となっており、8K 映像編集環境の構築時に初期コストを抑えながら導入することができる。業務用ノンリニア編集ソフトウェア「EDIUS Workgroup 9」との組み合わせにより、快適な 8K 編集環境を実現することができる。

8K 編集を可能にする最高水準のワークステーション

最新世代のデュアル構成 Xeon プロセッサ、大容量メモリを搭載した、最高水準のワークステーション。

OS は Windows 10 を採用。また Thunderbolt-3 を搭載し外部デバイスとのファイル交換もより高速になりました。

業務用ノンリニアビデオ編集ソフトウェア「EDIUS Workgroup 9」

マルチコア・コンピューティング用プロセッサである Xeon プロセッサに最適化され、比類なきデコード / エンコード性能を実現。XDCAM や P2、デジタル一眼や AVCHD などの HD フォーマットに加えて、Grass Valley HQX や XAVC / XAVC S、AVC-Ultra などの最新の 4K フォーマットにおいても、リアルタイムにネイティブ編集することができ、Log 素材を最大限に活かした HDR 編集もサポートしている。

数多くのカラースペースに対応し、自由自在にカラーグレーディングを行えるプライマリカラーコレクションに加え、プロジェクト単位のカラースペース設定による SDR/HDR の混在編集を実現。

放送局や Web 用の HDR メタ付加ファイルのエクスポートも可能となり、HDR 納品に最適化されたワークフローを構築できる。

Panasonic P2 8K デコード機能が追加され、P2 8K 素材のインポートが可能となった。

OS : Microsoft Windows 10 Enterprise 64-bit



HDWS 8K Express
8K 対応ノンリニア編集
ワークステーション

◆ソニー/ソニーセミコンダクタソリューションズ：世界最小（※1）1/2.8型セキュリティカメラ向け4K解像度CMOSイメージセンサーおよび、低照度性能を向上した2タイプを商品化

～カメラの高い画像認識・検知性能により、スマートシティや防犯・交通監視システムの安全性の向上に貢献～

ソニーは、今後のスマートシティの拡大を踏まえ、防犯・防災、交通、商業施設を始めとしたさまざまな監視用途で急速に普及が進むセキュリティカメラ向けに、4K解像度で世界最小（※1）1/2.8型の積層型CMOSイメージセンサー『IMX415』を商品化する。加えて、4K解像度で従来比（※2）3.3倍の高い低照度性能を実現する、1/1.2型裏面照射型CMOSイメージセンサー『IMX485』もあわせて商品化するとしている。

セキュリティカメラは、さまざまな場所での需要の増加を背景に、設置場所を選ばない小型でかつ高い画像認識・検知性能がより一層求められており、今後のAIによる画像認識を用いた異常検知や行動解析においても、そのニーズは顕著になることが想定される。

ソニーは、これまで難しいとされてきた、4K解像度での高い画像認識・検知性能と低照度性能の両立を小型で実現し、多様なシーンでの高画質撮像を可能にするCMOSイメージセンサーのラインアップを拡充することで、幅広いセキュリティカメラの展開に貢献するとしている。

※1：セキュリティカメラ用途の4K解像度のCMOSイメージセンサーにおいて。

※2：当社の1/1.8型有効842万画素CMOSイメージセンサー『IMX334』との比較。

1/2.8型（対角6.43mm）有効約846万画素（※3）積層型CMOSイメージセンサー（型名）『IMX415』

（サンプル出荷時期）2019年4月

（サンプル価格：税抜き）2,500円

1/1.2型（対角12.86mm）有効約842万画素（※3）裏面照射型CMOSイメージセンサー（型名）『IMX485』

（サンプル出荷時期）2019年7月

（サンプル価格：税抜き）10,000円

※3：イメージセンサーの有効画素規定方法に基づく。

◆ソニー/ソニーホームエンタテインメント&サウンドプロダクツ：ウォークマン(R)発売40周年の記念プロジェクトを実施“いつでもどこでも手軽に音楽を”から始まった、世界を感動で満たす音楽体験の追求

ソニーは、ウォークマン(R)1号機「TPS-L2」の発売から40周年を記念するプロジェクトを実施する。

「TPS-L2」の発売日である7月1日（月）から9月1日（日）まで、Ginza Sony Park（銀座ソニーパーク）で記念プログラム「#009 WALKMAN IN THE PARK」を開催するほか、スペシャルサイトや記念ブックレットを製作する。

「#009 WALKMAN IN THE PARK」では、著名人40人のウォークマン(R)とのエピソードを集めた体験型展示「My Story, My Walkman」や、歴代のウォークマン(R)約230台を集めた「Walkman Wall」などを設ける。

スペシャルサイトでは、各界の著名人にとって「ウォークマン(R)がどのような存在であったか」を問うインタビュー企画や、ウォークマン(R)の進化の歴史を凝縮した動画などを公開する。加えて、

ウォークマン(R)の40年間の歩みを紹介する記念ブックレットを、Ginza Sony Parkにて部数限定で配布する。

●Ginza Sony Park「#009 WALKMAN IN THE PARK」

期間：2019年7月1日（月）～9月1日（日）

時間：10:00 - 20:00 ※7月1日（月）のみ17:00開場

会場：Ginza Sony Park（銀座ソニーパーク）／地上階～地下4階（〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-1）

料金：入場無料 URL：https://www.ginzasonypark.jp/

（発売）2020年夏頃（価格）オープン価格

◆ソニービジネスソリューション：1.0型積層型CMOSイメージセンサー搭載4K HDRカムコーダー『HXR-NX80』、『PXW-Z90』が「シンプルライブストリーミング」に対応

<http://www.sonybsc.com/sbsc/news/2019/20190619.html>

カムコーダー2機種については、カメラ単体で主要なライブストリーミングサービスへのライブ配信が可能となる新機能を追加する、無償のソフトウェアアップデートを提供する。

高い基本性能で好評の『HXR-NX80』と『PXW-Z90』の用途がさらに広がるアップデートとなっている。

E-mail: sbsc-corporate-pr@jp.sony.com

◆ソニー/ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ：44色以上（※1）の超多色細胞解析をシンプルな操作で実現するスペクトル型セルアナライザー 最上位機種『ID7000 (TM)』を発売

～ソニー独自のスペクトル解析技術の結集により、科学的知見を深める包括的な細胞情報を提供～

※1：現在市販されている蛍光色素で確認した数字。320nmレーザーに対応した蛍光試薬と組み合わせることにより、今後増える可能性がある。

ソニーは細胞分析装置（フローサイトメーター）の新商品として、44色以上（※1）の超多色細胞解析をシンプルな操作で効率的に実現するスペクトル型セルアナライザーの最上位機種『ID7000 (TM)』を発売する。

本機は、ソニー独自の最新のスペクトル解析技術を結集し、最大7つのレーザー（※2）と計188チャンネルの光検出器、解析アルゴリズムを用いることで、超多色かつ高精度な解析を実現した。これにより、多種多様な細胞集団の中からがん細胞や幹細胞などの希少な細胞の検出を、一度の解析で可能にする。

多色解析の性能については、一般的に市場で活用されているセルアナライザーで30色程度の解析を実現していますが、本機では44色以上の多色解析ができるため、原理的には一度の細胞解析で約16,000倍（※3）の情報収集が可能となります。

※2：搭載するレーザーは最低3つから。オプションで最大7つに追加搭載可能です。

※3：30色の解析が可能なセルアナライザーと比較した場合。セルアナライザーのデータは、マーカー数に応じて2の累乗で増加することを以て算出。

細胞分析装置（フローサイトメーター）スペクトル型セルアナライザー（型名）『ID7000』



◆日本オーディオ協会 「OTOTEN2019」 の開催を発表



一般社団法人日本オーディオ協会は「OTOTEN2019」の開催を発表した。

会期は、2019年6月29日(土) 10:00～19:00、6月30日(日) 10:00～16:00。会場は東京国際フォーラム。

本誌では、発行直前日に当たり事前説明会での内容を紹介します。

2019年6月20日東京国際フォーラム G401 号室で記者説明会は開催された。

「OTOTEN2019に寄せて」と題し、会長小川理子氏の挨拶があり、続いて、事務局 照井和彦氏より紹介された。

以下は、そのスライドをもとに紹介する。

- HIGHLIGHT -

オーディオスタートコーナー

オーディオ専門誌主催セミナー

映画を聴こうプロジェクト

カーオーディオ体験コーナー

音のサロン

NHK 8Kスーパーハイビジョン

ソフト書籍販売コーナー

レコーディングエンジニアを目指す学生向けプログラム



オーディオスタートコーナー B1F



これからオーディオを始めたい貴方へ、話題のAIスピーカーからカジュアルなレコードプレーヤーまで、専門学校生コンシェルジュがご提案します！

音響芸術専門学校第48期屋間部クリエイターズディビジョン87名がインターン参加で来場者をサポート



オーディオスタートコーナー B1F

アナログレコードプレーヤー

ディスクユニオン
オーディオテクニカ
テクニクス

ION Archive LP
AT-LP5
SL-1500C

アーム、カートリッジ、フォノイコ、スピーカー付き
アーム、カートリッジ、フォノイコ付き)
アーム、カートリッジ、フォノイコ付き)



オーディオスタートコーナー B1F

デスクトップオーディオ

テクニクス OTTAVA SC-C50



AIスピーカー

Google Home



サブスクリプション(定額制)音楽配信サービス

一定の月額料金で、配信されている楽曲が聞き放題になるサービスです。ストリーミングによる再生が基本ですが、オフラインでの再生が可能なサービスもあります。また、無料で利用できるサービスや、聞きたい曲を自由に選択するのではなく、テーマに沿ったプレイリスト、チャンネルからラジオのように自動でお薦めの音楽を流してくれるサービス、あるいはアニソンに特化したサービスなどもありますので、自分に合ったサービスでお楽しみください。

協賛：一般社団法人日本レコード協会

Bluetoothスピーカー

クリプトン KS-55 (aptX HD with ソニー NW-A57)
オラソニック IA-BT7 (LDAC with ソニー NW-A57)



ヘッドホン/イヤホン(ハイレゾワイヤレス)

ソニー WH-1000XM3 (LDAC with ソニー NW-A57)
ラティウス HP-BTL01 (LDAC with ソニー NW-A57)
エレコム LBT-HPC1000MPGD (LDAC with ソニー NW-A57)



映画を聴こうプロジェクト B1F G408 G603

映画だって高音質で鑑賞したい！手軽なサウンドバーから本格的なイマージング・サラウンドシステムまで、多彩なラインナップが勢ぞろい！



オーディオ専門誌主催セミナー D5 Hall

株式会社誠文堂新光社

最新オーディオDCアンプを聴しむアナログとハイブリッド再生

開催日時 8月10日 (日) 10:00~11:00
 会場 東京有明コロシアム (有明) 1F 101号室
 講師 田代 義典氏 (東京有明コロシアム)



株式会社ステレオサウンド

アナログレコードができるまで

開催日時 8月22日 (土) 18:00~19:00
 会場 東京有明コロシアム (有明) 1F 101号室
 講師 佐藤 隆夫氏 (東京有明コロシアム)



株式会社音楽の友社

高音質録音、変換録音を各種フォーマットでの聴き比べ

開催日時 8月22日 (土) 18:00~19:00
 会場 東京有明コロシアム (有明) 1F 101号室
 講師 山崎 浩司氏 (東京有明コロシアム)



株式会社音元出版

オーディオアンプの基礎知識「Hi-Fiの音」を聴く

開催日時 8月22日 (土) 18:00~19:00
 会場 東京有明コロシアム (有明) 1F 101号室
 講師 田代 義典氏 (東京有明コロシアム)



音のサロン D5 Hall

アナログレコードで聴く聴き比べ

開催日時 8月30日 (日) 10:00~11:00
 会場 東京有明コロシアム (有明) 1F 101号室
 講師 田代 義典氏 (東京有明コロシアム)



出展各社様の情報

株式会社ディーアンドエムホールディングス：Marantz 薄型 AV アンプ NR1710 の紹介

株式会社 JVC ケンウッド：シンプルな測定でリアルなマルチ ch 音場をヘッドホンで再現する最新版「EXOFIELD」を体験

アイ・オー・データ機器：オーディオブランド「fidata」、ネットワークオーディオサーバー、コントロールアプリやケーブル等

エントリー向けネットワークオーディオサーバー「Soundgenic」
協同電子エンジニアリング (株)：新製品パッシブアッテネーター 式コントローラー：GM 2000 の開発逸話とその試聴。セパレート MC 昇圧トランス：T 2000 の開発逸話と試聴。新製品フォノアンプ：EA 350 とフォノアンプ、カートリッジの比較試聴。

MQA Limited：MQA CD、MQA ライブストリーミング、ポータブルデバイスでのデモ、ヘッドフォン試聴

株式会社オーディオテクニカ：AT ART1000、AT OC9X、VM カートリッジ試聴。Audio Technica Excellence シリーズの魅力アピール

株式会社ブライトーン：LUMIN、SOtM、holbo、Dynaudio、SIMAUDIO。エアーベアリング・リニアトラッキング・ターンテーブル・システム holbo の試聴

株式会社テクソル：アンプの有無や真空管の入れ替えなどから音色の違いをご紹介します

株式会社デジタルストリーム：PS Audio 初のエントリーモデルとなる新製品 DS E1 光カートリッジの試聴デモ及び説明。

Escart 音響パネル・オーディオボード・レコードクリーニング商品を展示。

株式会社ノア：イタリア・Sonus faber (株式会社ノア) のフラッグシップ・スピーカーシステム“AIDA II”

株式会社アーク・ジョイア：スイス・Soulution のフラッグシップ・ライン“7シリーズ”アンプ群という初の組み合わせで演奏 アナログ・レコード演奏を中心とした感動体験

(株) ハイ・ファイ・ジャパン：Accustic Arts の AMP II & AMP III とスピーカー Sonus faber AIDA II を組合せて、Creek の Evo 100A & Evo 100P とスピーカー ELAC「VELA シリーズ」を組合せて、パイアンプ駆動のミュージック・パフォーマンス

完美電気：PS オーディオ新製品 Stellar P3 を中心に、Stellar シリーズの魅力をご紹介します。

フルテック：NCF コネクター初の金メッキ、銀メッキ仕様の新製品 FI 46 NCF / FI 48 NCF シリーズ出品。

有限会社ポルトアンペア：GPC TQ、GPC DC12 による ULTRAHD デモ、日本の貧弱な電源事情の解説。

メルコシンクレッツ株式会社：DELA
株式会社ユキム：空中浮遊アナログプレーヤー MAGLEV と DS AUDIO の光カートリッジで聴く最先端アナログ。

(株) CSR：SOULNOTE / PMC 製品を試聴

スペック株式会社：YG アコースティックスピーカーを超高級パワーアンプ RPA MG1 で鳴らします。

ハーマンインターナショナル株式会社：JBL とマークレビンソン、REVEL の新製品や人気モデルを組み合わせてご試聴。

パナソニック株式会社 Technics：ダイレクトドライブターンテーブルシステム (SL-1000R / 新製品 SL-1500C)。DJ 用ターンテーブルの新製品 (SL-1200MK7)。

株式会社ヤマハミュージックジャパン：AV アンプによるシアター体験